

## 県央ブロックごみ処理施設整備候補地 太田地区住民説明会の開催結果

1 開催日時 令和3年7月28日(水) 18時00分から20時25分

2 開催場所 太田地区活動センター

3 出席者

(1) 住民 14名

(2) 報道機関 3社

(3) 協議会 11名(小原事務局長, 森田次長, 山内主幹, 南幅副主幹, 菊池室長, 藤原副主幹, 中嶋主査, 木村主査, 折本主査, 林野主査, クリーンセンター高橋所長)

4 会議概要

(1) 開会

森田次長により開会及び司会進行

(2) あいさつ

小原事務局長からあいさつ

(3) 説明

菊池室長から「令和2年度県央ブロックごみ・し尿処理広域化推進協議会の開催結果」ほか2件を説明

(4) 質疑(質問者5名, 質問・意見数45件)

発言者・回答者	発言内容
①A	①始まる前にこちらから話したいことがある。今回の開催案内について一言話をしたい。
→森田次長	①こちらから送付した案内に対しての質問なのか。
A	②開催の仕方についておかしいのではないかとということで、始まる前に話をしたい。
→森田次長	②説明が終わった後で質問いただくことではどうか。
A	③そうではない。そもそも今日の開催について、ご覧のとおり人数が少ない。どうしてこうなっているのか。開催のやり方も案内の仕方もおかしいのではないかとということ。そこを認識してから話を進めた方がよいのではないかと。このくらいしか集まらないの

	に説明したということにはならない。
→森田次長	③質問の意図はよく分かったが、こちらから説明した上で、質問いただければと思う。
A	④いや違う、始まる前だ。この説明会自体がこれで成り立つのか。あなた達は、一度説明会で説明すればやったということになるが、こちらからすれば、それでは全然納得できない。そもそも今日の説明会は非常に今までと状況が違っている。このくらいしか集まらない。これについては、6月24日付けで文書案内し、「今回は参加について事前申込みだ」とした。それも、大分期間が経ってから、いつからいつまでやってくださいということだ。ところが、住民にすれば、案内と申込期間が離れていることで、文書が来たのを忘れていたという人や、申込み自体が嫌だ、今までどおりその場で説明会に参加可能であれば参加するという人もいる。 それから、昨年11月下旬に配布物が出たが、非常に大きな影響を及ぼしている。あれでもう決まったのかということをよく聞く。あの中身は盛岡市が一方的に書いた。だからそういう諸々のことが重なっている。コロナも影響している。こういうときに人が集まる場所に出たくないということもある。結果がこのとおり。だから、今日の説明会は、住民の様々な意見を聞いたことにはならないのではないか。そこを認識しながら進めてほしい。
→森田次長	④御意見として頂いた上で、これから皆さんと話をさせてもらうことも考えている。運営も相談させてもらいながら、理解いただきたいと思う。よろしいか。
A	まあ、一応は。

住民説明会資料を説明

B	⑤住民を集めようとしている熱意がない。2日に分けてやることは書いていて、電話したら担当者から「まだ受付期間ではなく、何日から何日までです」と。時間をおいてから受け付けるという言い方で意味も分からない。何人でもいいではないか。席も5メートル、10メートルも離す必要はない。住民に説明する態度が、住民をより多く集めて説明するという姿勢が全くない。 それから、この説明会はコロナで延び延びになっている。その間、事業計画を止めていたのか。止めているならよいが、こっち
---	--

は進むわけだ。我々は、あなた方が出してこなければどこまで進んでいるのか分からない。そういう、耳を塞ぐ、目を塞ぐ、口も塞ぐことは今後やめてほしい。

既に8市町の首長が集まって決まったと言ってセレモニーはやったが、やり方にも非常に不満がある。上厨川に決まったと大きく書いているが、賛成者が多いと言うが、反対が多いのも挙げなければならない。一番おかしいと思うのは、4か所の選定をすると言い、全部参加者が反対と言い、その後交渉した経緯が無い。そして、平成29年に4か所のうち1か所が有力地であるという言い方で表現した。しかし、あなた方が出している冊子を見たが、8市町の広域は、国の要望だ、県の広域化と言って集約するのが第一番だという言い方をして、上厨川に選定されたような書き方をしている。岩手町、矢巾町に中継施設を作り、そして、積み替えて運ぶ。平成27年の時点で既に上厨川が想定されている。それを元にしていながら、まだ決まっていないと言いながら、地区の要請があったので、自治会が率先して賛成してすすって始まった時に、別な地域住民からはおかしいよって始まったけど、そういうものを全く無視して、8市町の協議会としての結論を出した。コロナの状況もあるが、そういうことを言いながら我々に一切、目も耳も口も封じておきながら進めたというのは住民無視だ。賛成はいてもいい。私は否定しない。土地の地権者が債務で困り、なんとかしてくれと言ったかもしれない。だが、それに乗じてやったといって、反対の声もあることを出さず、こういう書き方をしているのは稚拙だ、住民無視だ。

もう一つは、今のクリーンセンターの場所で反対がすごかった。だからやめたと簡単にあなた達は言った。しかし、今ここに出ているクリーンセンターがきれいで、粉じんもバグフィルタを使っていていいです、排水もクローズドシステムで出しませんと書いていて、それも国や県の基準よりも立派だと言いながら、なぜクリーンセンターの住民が大反対するのか。これも大きな矛盾だ。あなた方はそう思わないか。民主主義と言えば、少数意見も聞くことが民主主義だ。しかし、最後は多数決というのが民主主義だ。そう教えられて育った世代だが、クリーンセンター周辺をおとし

めて言うつもりはないが、住民と前潟地区とわざわざ太田まで来て説明会しているのは何らかの影響があると思うから説明している。28万の盛岡市のうち、太田の人口をみたら反対と賛成どちらが多いのか単純な話だ。だから、稚拙で拙速な決め方はせず、きちんとやるべきだった。8市町の首長が決めれば決まるという言い方ではない。それもコロナの少し前か、一人の太田地区の市会議員が議長だった時に、協議会と称して盛岡市長が代表で盛岡の市議会議長に出している。だから全てがそういうふうに進んでいる。そうやるならば、逆に賛同者を増やすような進め方でもすればいいが、目も耳も口も塞ぐような説明会というのは説明会と言わないんだということ。これは、行政として市民の立場を何も考えていないことだ。あなた方は、自分たちに与えられたタイムスケジュールの消化にしか過ぎない。今日の説明会のやり方なら。私はこれを大きく言いたい。どこやっても、耳塞いで目を塞いでる。さっきも言ったように、反対があった、それでは都南の時も乙部もクリーンセンター周辺もどのくらいやって、どのくらい時間を費やして、どのくらい反対があったということを一言も出していない。市議会で問題になったのはたった2回だけだ。遅れているから早く造れと言った賛成意見の市会議員がたった2人だけ。これは市会議員としてはあるまじきことだ。本来、住民から選ばれた市会議員なら、もう少しこれを真剣に見なきゃならない。主義主張だから賛成なら賛成でもいい。賛成なら、賛成するだけのことをみんなに教えればいい。私はそう思って資料を取った。それから東京にも行って来た。この辺と似たような街に。やはり押し付け合いだ。自分たちは嫌だと。出したごみは関係なく焼くのは嫌だと言って、結局財政の弱い地区に持って行ってる。これが現状だ。だから、自分たちが出したごみがお世話になるんだから、迷惑施設というのは言い過ぎかもしれない。しかし、60%のごみを出す盛岡だから盛岡がやりますよと。そう言うが、残りの40%はどこからといったら、紫波郡、岩手郡、八幡平市から来る。少なくともごみ焼却請負業になっている。だったら、自分たちのごみだけではなく請負業もやるなら、やってもやむを得ないとすれば、ますます盛岡市民の賛同を得なければ28万市民の意思じゃ

ないということになる。汚いもの嫌なもの押し付け合いの場所にしたんじゃ何も意味がない。これでは盛岡の不幸だ。そのやり方としておかしいと言った。そこまで言わないと、開口一番やり方がまずいとあなた達に苦言を呈した意味が分かってくれたと思う。私が全て正しいと言わないが、私はそういう感覚だ。

それから、施設が6施設ある。八幡平や滝沢などみんな焼却場を持っている。それを今後どうするかとなった時に、もう老朽化だと言うが、聞いてみたら延命措置もできると言っている。480億と書いている。新しくやれば780億だ。よく見ると、先ほど言ったように中間集積所の試算は、私からみれば非常におかしな数字の羅列だ。それから、パッカー車も2トン車を10トン車に積み替えるというが、パッカー車が本当に2トン車なのか。私から見ればほとんどのパッカー車が4トン車か、むしろ5、6トンが多い。逆に直接搬入する方がお金が掛からないはずだ。

わざわざ津志田の盛岡市内から紫波郡の矢巾まで持って行って集積するというマスタープラン自体おかしい。

最後に、こういうプランを、少なくともここにいる人たちは関わっていない。業務委託でやったか知らないが、この資料を解析、分析あるいはたたき台にする監視委員会があるのか。これが一つ。

それから、8市町の中で協議会という言葉を使い常にする。協議会の決定によって盛岡市長が協議会の会長をやる。しかし、盛岡市長といえども協議会の中では一人の構成員であり、全てを束ねるわけではない。すると、事業組合を作ると言っていて、この焼却炉を運転することになる。これに対して周りは使用頻度によって出資金でやるというが、こういう業法自体が、親方日の丸だ。この手でやって成功した例がまずない。これの運営と協議会ですって言ってまるで他人事で作るような運営方法を誰が監視するのか。盛岡市議会ができるのか。機構上できない。できるかできないのか後で回答を頼む。いずれ800億にもなるような、平成50年とか平成45年と資料には書いている。これはあくまで大雑把な案として進めたとしても、今の候補地を決めるのは、既に平成27年にそれで進むとなっている現状を見れば、あながちこの大雑把な計画書が嘘でもない。これで進むような気がする。進めるまでの協議会

	<p>は首長だが、本来の計画を誰が認めるようになっていくのか。妥当性があるかないか。それとその後の運営、その中の事業費をどのようにしていくのかということに対して、盛岡市議会が何の力を持って、どこまでやれるのか。いつも8人の首長が来て結構だと言えば何でも終わりだ。責任の所在がないということを言いたい。3月の協議会で8人の首長による決め方を見て、いささかがっかりした。コロナで1年半ある。そういう決め方を今後していくのか。その運営方法にも問題がある。</p>
<p>→菊池室長</p>	<p>⑤基本構想を監視する仕組みについては、基本構想を作るに当たり、8市町の首長の協議があるが、その中で検討部会という、各市町の担当課長が集まっての実務的な会議等を経ている。その上で作られてきた。</p> <p>組合を作った後、誰が監視するのかについて、こちらは盛岡市議会がどうかという御意見だが、組合として設立することになると、その組合で議会を持つ。例えば、盛岡の広域消防組合でも、8市町が負担金を出し合って消防を行う一つの自治体という形になっている。そちらは、各市町から議員を出して組合の議会という形で行っており、その中で事業などについて様々な御意見を頂くということで、チェックというか、色々と御意見を頂くという仕組みになっている。</p>
<p>B</p>	<p>⑥そうすると、組合で組織の委員をやって、そこで議会のような委員会を作ってやるということは、少なくとも、住民から離れたことは間違いない。盛岡市の施設であれば、少なくとも住民の声は近いと思う。ところがそこで1回吸収して、8市町でやると思ったらもうこれは別物だ。そっちを恐れている。だから協議会のやり方を見ておかしいと思った。県から来て、環境の担当者が来てじっと見ている、深々と皆さんがお辞儀しているところを見ると、やはり県がかなり強く入っているという感じはした。元々は県の振興局が国から押し付けられて、おそらく県の直轄で始まっている事業だと思う。だから、大きな事業だと思うが、住民から離れることだけは何となく感じている。できましたと言えば、ただごみだけ散らかすこととなりますよになってしまう。ついでに言うが、環境アセスやりましたと言っても、あの風向きから見て、</p>

	<p>年間の風向きと強さから見て、7割8割は太田の中太田から下太田、それから前潟・三ツ家・城西町が全部被ると思う。あなた達はコンマいくつと書いているが、国の基準より厳しい基準と書いているが、今ゼロのところコンマいくらでもごみが出ることには間違いない。バグフィルタ使おうが何を使おうがごみは出る。それを、出ません、出ますという話でなくて、ゼロのものに出てくることに対する説明がおかしいと思う。大丈夫という言い方だけだと困る。ということを含めて今後の、少なくとも資料に良いこと書いている。国の中でも立派なものを造り、最新の導入を勘案し、国が定めた基準よりもと言うが、国の基準は割と緩い。やはり盛岡方式を、全国の同時に焼却炉が盛岡を目指して見に来るくらいのレベルや、具体的な話をしないと。こんな抽象論では駄目だ。いずれ盛岡市内全部被るからこのごみは。煙突について、この前、何メートルにするのかと聞いたとき、この話出てきてない。80メートルにするのか120メートルまで上げるのか知らないが、それだって沈降していくわけだから風まかせという言い方は困る。そういうことを考えてもらわないと駄目だ。別な方は具体的ではないと言いながら、どんどん進めておきながら。こういうところで、全く抽象論的な言葉だけで済ませてるのが、さっき言った目も口も閉じさせてるということ。あなた方はそうじゃないと思うかもしれないが、結果的にそうなる。そう思わないか。</p>
→菊池室長	<p>6 議員の構成は、盛岡市の議員を含めて各市町から推薦を頂く。各市町の議会から推薦を頂く議員は、市民から負託を受けており、そういう形で検討・説明をすることがまず一つかと考えている。</p> <p>また、先ほど目を塞ぎ口を塞ぐという話があったが、情報提供をできる限り、機会を捉えて行うことが大事と考えている。</p> <p>環境アセスメントについては、岩手県の条例で定まっている。先ほど風向きの話があった。当地は西寄りの風が強いということがあると思う。その辺、1年間かけて風向きや交通量などを調査して、季節の場合でどう影響が生じるのか調査を行っていく。その上で、その影響が最小限になるように何をどうしたらいいのか案を示し、その中で意見を聴く機会を設ける形で、一方的に決めるということではなく、こういう状況で、こういう確認してとい</p>

	うことをやり取りしながら考えていく，協議していく形で確認していくものと捉えている。ゼロでないという話もあったが，その影響が少なくなるように考えているものである。
A	7 3月 24 日に協議会が行われて盛岡インター付近が候補地として選定することを決定したということだが，これについては，そちらの説明書きにもあったが，具体的に根拠とすれば何なのか。
→菊池室長	7 予定地の選定として3つの要件について検討した。 1つは地域住民や関係者の意見等，これは様々な意見があり，反対する意見もあり，あるいは容認する意見もありという状況である。土淵地区においては，まちづくり懇談会以降，ふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会や，工場見学などの学習を行ったり，あるいはシンポジウムを開いたり，そういう形で理解が深まりつつあったというところかと思う。 そして，整備の確実性で，（候補地の）公表以降，地権者に対し情報提供してきた。そういう中で整備に御理解いただけることがあるということである。 そして，整備運営上の諸条件として，整備候補地4か所ある中，費用比較で最も低い結果となっている。 これらを総合的に判断し盛岡インターチェンジ付近に決定した。
A	8 今の根拠とすれば，先進地視察や，そういう地元の理解を得られた。あとは，経済比較この2点だけ。
→森田次長	8 選定の部分は，資料の2ページから3ページにかけて記載している。2ページの1番下のところに地域住民や関係者の意見等，そして3ページに整備の確実性と整備運営上の諸条件という3つの選定要素になっている。これらで判断された。
A	9 すると地域住民というのはどこが対象になるのか。
→菊池室長	9 地域住民と言った時に，施設の所在するコミュニティ地区がまず1つある。また，太田，ここは隣接する地域の意見。あるいはそれ以外の部分で，反対する方々からの御意見。様々な地域の方からの御意見を伺って，地域の御意見を総合的に伺っている。
A	10 この説明だと土淵地域のことしか書いていない。太田のことは一切入ってない。太田は一昨年も2回の住民説明会では猛反対だ

	<p>った。そういう中で土淵だけの一部の地域の動向だけを見て決定した。決定の根拠になっているのはおかしい。今候補地になっている場所は、雫石川を挟み、ひょっとしたら前潟地域より太田の方がもっと距離的に近い。太田のことが全然入っていないのはどうということなのか。太田は反対していた。それが住民の理解を得られたというのはおかしいんじゃないの。</p>
→菊池室長	<p>10 説明資料は要約した形だが、協議会の資料では、太田地域からどういった御意見があり、あるいは反対署名があったということも含めて説明し、8市町の首長から御意見を頂いている。</p>
A	<p>11 去年、議会などでごみの広域化について色々話題になったが、市長は去年11月に出した配布物、それからその前の広報で広域化の特集を何回か組んだ。それらをもって住民の理解を得られたと思っている。市長が言っている住民の理解とは何か。どこが対象なのか。</p>
→菊池室長	<p>11 11月に冊子を作り、土淵地域・太田地域には全戸配布を行った。(他の)盛岡市内では回覧でお知らせした。また、広報での周知も行っている。その中でお問い合わせくださいという形で投げ掛けている。それを基に御意見・御質問を頂いている。そのやり取りの中でも、様々な意見が寄せられ、情報交換の中で理解が深まっている部分もあるのではないかと考えている。</p>
A	<p>12 その言い方はおかしい。太田は明確に反対している。それが住民の理解が得られたとはどうということなのか。太田は土淵地域より無視されてる。なぜ、太田はないがしろにされるのか。地元の推進協議会から受入表明が出たからもういいんだよと。もう理解は深まったと。あとは無視しろと。そうということなのか。同じ土淵地域でも反対する会が結成されて署名も集めている。なぜそれらが無視するのか。</p> <p>13 前潟については商店街がある。前潟イオンやほかの大型店がある。最近聞いているのは、前潟イオンの空き店舗が増えてきている。これは景気によるものはあると思うが、付近に大型店がある。ここは、経営者がごみ焼却場ができたなら撤退すると言っている。それが1店舗ではなく複数店舗から聞いている。ごみ焼却場が来れば必ず撤退する。こういうものを市はどう考えているのか。</p>

→森田次長	12 太田地域から様々な御意見を頂いてきてというのは、これまでの住民説明会でも大多数の方が反対されているということは我々も受け止めており、その上で、協議会でそういう状況についても伝えている中で、そういう判断がなされた。その上において、反対されている地域の方々に対しては、決定後も引き続き丁寧に説明し、情報交換をしていくべきだという付帯意見もあった。
→菊池室長	13 私どもはできるだけ迷惑施設ではないものを目指していきたいと考えている。それによって、地域全体が底上げになるような、元気になるような施設になればという思いがある。だから冊子の中で、全国の事例で賑わいや、学習などの事業を目指していきたいというメッセージで情報提供を行っている。
A	14 それは嘘だ。詭弁だ。ごみ焼却場はどこでも嫌だ。反対してきているのだから。そこがたまたま盛岡インターチェンジ付近は賛成する一部の住民がいたから候補地として選定したんでしょ。そもそもごみ焼却場はできれば危険なものだ。安全なごみ焼却場なんて聞いたことがない。何が起きるか分からない。いくら性能の良い施設ができてでも人災もある。いくら監視機能を強くしても一度事故が起きてしまえば基準以上の有毒ガスなどが出てしまう。その時どう対応するのか。監視についてもダイオキシン検査などやると言い、国より厳しいということも話すが。そもそもダイオキシンは年に何回検査しているのか。
→クリーンセンター高橋所長	14 ダイオキシン検査は、年1回煙突口の検査をしている。
A	15 1回の時間はどのくらいなのか。
→クリーンセンター高橋所長	15 サンプルングして、それを検査機関に持っていつている。詳細な時間については把握していない。
A	16 例えば1時間とすれば365日×24時間分の1だ。そんなもので安全と言えるか。言えないでしょ。
→森田次長	16 準備していなかった部分もあり、重要な部分については、情報提供させていただく。
A	17 そもそも、今回選定した理由は地元の推進協議会が受入表明をしており、条件を付けている。ごみ焼却場の方式は熔融炉方式を絶対条件とする。土地については、候補地以外にも他の方も公平

	に買うようにという話をしている。溶融炉を受け入れるのか。
→菊池室長	17 地域の意見として重要なものと思うのが一点であるが、一方で、行政が施設整備を考えるとすれば、最初から一択ではなく、今ある様々な炉の形式や浄化設備などを複数考えて、どういうものが広域の処理の中で望ましいのか考えさせてもらおうと申し上げている。
A	18 地元はそれで納得しているわけだ。絶対条件と書いている。
→菊池室長	18 繰り返しになるが、意見を表明いただく時にそういう話はさせてもらった。それについて特段異論はなかった。
A	19 地元はそれについて異論はなかったわけだ。地元から聞く。絶対条件と書いて、それで地域の住民には推進協だよりで出している。絶対条件だと。
→菊池室長	19 地域に対してそういうお話をしていることがあるかと思う。溶融炉方式を、色々勉強してきた中で望ましいのではと考えを持っているとは聞いている。繰り返しになるが、意見を頂く時にそういう形で説明したというところである。
A	20 要は、何としても受入表明を出してもらって、市としてはそれを大きな根拠に候補地を決定したかったわけだ。
→森田次長	20 決してそういうことではないということは、前にもお話させてもらっている。
A	21 それは初めて聞く。
→森田次長	21 いえ、こちらからお願いして出してもらったものではないということについてである。 また、先ほど室長からの説明のとおり、炉の部分は、地域からは溶融炉が絶対条件という書き方をされていることは重く受け止めている。それを踏まえて、地域とは様々な話し合いしながら、また、専門家の意見も交えながら、地域で溶融炉とした理由について、それ以外の形式でもできるのではないかということも含めて、様々な角度からの話し合いはこれからもしていきたいと思っており、このことについては、地域に伝えている。
C	22 3ページの2番、整備の確実性のところだが、ごみに関していろんな噂が飛び交っていて、噂によるとあそこで区画整理組合が破綻してそこが売りがっていると聞いた。ところが、地権者か

	<p>ら聞いたら組合としては、はっきり反対をしたと。では誰が欲しがっているのか。先ほどの話では自治会長さん達ということだが、これは地権者の人達を無理やり説得してということなのか。</p> <p>23 候補地の所に（反対の）看板が建っているし、地権者に聞いたら、し尿処理の話まで持ち出してきたようだ。ここでは全く触れないが、将来的にどうなのかと色々考える。でもはっきり市が言っていたと聞いた。多分そこは全く検討していないということで、今日聞いても何の返事も来ないと思うが。整備の確実性というのは地権者を説得すると見える。地権者の人は、そもそも反対するのに何なのか。</p>
→森田次長	<p>23 今回検討しているのは、あくまでごみ処理施設で、我々としてごみ・し尿・広域化という名前で仕事をしているが、今回具体的に検討しているのはごみであり、し尿処理については対象としていない。あその場所で想定しているのはあくまでごみである。</p>
→菊池室長	<p>22 地権者を説得してという話があったが、ここに書いているのは29年5月に整備候補地4か所を選定し、それ以後、地権者に盛岡インターチェンジだけではなく4か所の地権者を含めて情報の提供をした。そういう中で、電話などで期待する声などが寄せられているということがある。</p>
C	<p>24 住民説明会が太田と前潟だけとは、前潟の風下は稲荷町など住宅街があるが、なんでそちらはやらないのか。</p>
→菊池室長	<p>24 当初は、県の（通知の）中間処理施設の場合、施設から300mという基準があり、それを500mに拡げて説明会を行っていたという経緯がある。その上で、町内会単位等で、説明会の要望があった場合は調整し、開催するという事でやっている。太田の場合にはそういった形で説明会を開催している。それ以外の市内の部分については、手続やお知らせについては、きれいなまち推進懇談会等を通じて行っている。</p>
C	<p>25 この計画は、8市町の住民の意見が反映されるはずだ。500mだけではない。住民合意というのは候補地ではなく、用地の選定には必ず必要なはずだ。今新たに署名を始めているが、広めてびっくりするくらい住民は全然知らない。広報などで色々配られていると思うが、そもそもやり方がまずいのではないのか。</p>

→森田次長	25 8市町の計画だという趣旨のお話については、全く御指摘のとおりかと思う。なぜ施設整備周辺、先ほど500mと話をしたが、そういう特定地域だけを対象としてやってるのかということについては、我々としてもなるべく広い範囲で様々な方々にお話しする機会をと思っているが、どうしても整備予定地が属している地区、そしてその地域に接する太田地区、この2つを中心にこれまで対応してきている。ただ、その中でCさんからのお話のとおり、例えば、風下のエリアもということで、そちらの地域の方々からもお声掛けいただければ、我々もそちらで説明会などは開催したいと考えている。
C	26 9ページの喘息罹患率だが、東松園が高いが、他の所がゼロだから焼却施設の影響はないと言うが、風向きの図を当てると東松園の所は、大半が山側の方に吹いていて、この場合だと風下に沢山人が住んでいる。世界的に見ても、健康被害と焼却炉の影響ははっきり関係あると言われている。ないと言っているほうがおかしい。今のクリーンセンターは頑張ってくれているのは分かるが、大半が生ごみだったら、生ごみをどう処理するかなど、ごみを減らす方向を議論するなら分かるが、なぜ新しい焼却炉の熔融炉などの見学ばかり、しかも地権者がいる地区だけにそういうのを連れて行くのか全く分からない。なので反対だ。
→森田次長	26 喘息のことや生ごみのことなど含めて、最終的には反対だという御意見で承った。
D	27 資料の中で地歴調査とある。これは土壤汚染対策法の、具体的に何を調べるか決まっていると思うが、何を調べるのか。
→森田次長	27 詳細な資料はないが、土壤汚染調査を行っていく中で、例えば第1種特定有害物質やカドミウムなどが指定基準値に対してどのような濃度として存在してるのか、またその深さの部分も併せて、そこを調査することで想定している。
D	28 建設予定地は地歴調査が必要な土地なのか。無作為には、普通やらないはずだ。
→菊池室長	28 使われていた用途は、元々は農地だった。盛岡市が昭和20か30年頃ごみの搬入場所に使っていた場所が部分的にはある。
D	29 そうすると、たとえば第2種を調べるとなれば、一通り全部や

	<p>るということなのか。</p>
→森田次長	<p>29 そうです。いわゆる開発面積で必要になってくる部分もある。3,000 m<sup>2</sup>以上の開発行為であれば必要ということで、例えば旧三ツ割清掃工場の解体などでやる際にも、地歴の状態がどうかも含めて行っている。解体と建設で少し違いはあるが、その部分も明らかにしながら進めていくべきではないかと、今時点では考えている。あと、その後に様々なことをコンサルに相談しながら、専門的な知見に照らしてどのようにやっていくべきなのかこれから具体化し考えていく。</p>
D	<p>30 多分、調査、地質だとか専門家じゃないと分からないと思うが、もう少し中身が分かるような書き方をしてもらえると非常にいいかなと思う。素人が見るとこれでは分からない。PFIは何か。もう少し丁寧にと考えた。</p>
→森田次長	<p>30 貴重な御意見だと思う。ありがとうございます。今御指摘いただいたように、我々が普段使っているワードが分かりにくいという典型的なお話だと、今深く考えさせてもらった。今後、気を付けていきたいと思う。ありがとうございました。</p>
E	<p>31 反対している地権者がいるようだが、市では丁寧に説明して理解を求めていきたいというお話だったが、どうしても土地を手放さない方に対しては強制的な手段を用いることもあるのか。</p>
→菊池室長	<p>31 今時点としては、皆さんに説明をして、その上で御理解を頂けるような形で進めていけるようにと考えている。無理となった場合にどういった整理の仕方があるのか、それを考える可能性はあると思っている。今、具体的なことは私は申上げられない。今考えていることとすれば、そういった形で理解を頂ければ、あるいは合意を得られる部分でなんとかならないかという部分で進めていければと思っている。</p>
E	<p>32 では否定できないということですね。</p> <p>資料10ページの交通渋滞について、西バイパスの前潟交差点を交通量調査で選んでいるが、盛岡地域の鹿妻や猪去地区、都南、矢巾、紫波町が、西バイパスを通過してごみ収集車が予定地に通行するとは考えられない。実際には、船場橋を紫波町や矢巾町などいわゆる南からの車両が、ほとんどがそちらを通過している。なぜ</p>

かと言えば全然信号がない。バイパスを通るより。そちらの方が交通の便が良いから通っているというのが実態だ。そこを何で調べないのか。あそこは2車線だ。西バイパスは4車線、今拡幅工事しているが。ピントがずれてないか。

33 増加見込みの車両を時間帯によって按分し、増える車両は微々たるものだという資料。地域によって、あなたの地区はこの時間帯にごみを搬入しなさいという、搬入の仕方を指定するのか。しないだろう。収集車のごみを回収して満杯になったら処理場に持って行って荷を下ろす。この時間帯まで規制しているなら分かる。けど違う。すると、ある時間帯に集中するのは普通に考えてありうる。そういう調査をして資料説明するなら分かるが、全体的外れだ。やり直してほしい。それと、船場橋は盛岡市立高校の通学路だ。堤防もそう。部活動で周辺を高校生がランニングしている。分かるだろう。そのすぐ傍にごみ焼却場を建てるわけだ。もう一つ言えば、船場橋では交通事故で高校生が亡くなっている。そこを通すのか。4トン車や10トン車など大きな車両を。交通量増やして。地域に住んでる者として到底容認できない。危ない。人が亡くなっている。そういうところに、ごみ収集車に対して搬入経路や時間帯を指定する所まで考えてやるならいいが。やってない。これから考えるというのはおかしい話だと思う。

34 西バイパスを搬入経路に想定して交通量調査をしている。だが、11ページの洪水浸水想定区域にあるように、浸水想定地域になっている。雫石川の太田側の方は。浸水している状態のところにごみ収集車を通らせるのか。ごみ処理場は浸水想定区域になっていないとしても搬入経路が浸水する。そこを通らせるのか。だから、この資料として全く理解得るところか何を考えているのかさっぱり分からない。加えて言うと、6月9日に御所ダムが大規模洪水を想定した警報訓練をやっている。チラシが回ってきたから行って来た。どういう警報が出るのかといたら、「御所ダムとして、雫石川を、国が大規模洪水を想定している。だから本番と同じ警報訓練を流します」と言ってやっている。その内容は、「雨量が想定貯水量を超えたので、これから3時間後に放流する。下流において氾濫する」と言っている。雫石川が氾濫すると堤防

	<p>は決壊するとは言っていないが、川の中にたくさん雑木がある。雑木が根こそぎ流されて橋脚に引っ掛かってそれがダム効果生んだとしたら、どうなるか。想定できるだろう。予定地のすぐ上流だ。今日だって台風8号が宮城県に上陸した。観測史上初めてだそう。今まで経験したことがないことが自然界で起きている。台風も石巻方面から上陸して花巻方面を通過している。それが少しずれたら大丈夫とは言えない。そういう所に安全だから施設を建てるなんて誰が責任取るのか、災害があったときに。東日本大震災の東北電力の原発が被災したときも誰も責任を取っていない。東北電力も国も。同じことだ。人災だ。普通に考えてあの場所が適当かと言ったら誰が考えても分かる。だから、この3つについて責任も含めて明確に答えてほしい。</p>
<p>→菊池室長</p>	<p>32 33 船場橋での事故などを含めて、その中でどういう搬入ルートが良いのか、今後検討する部分である。交通量調査については、27年度交通量の街路交通情勢調査を基にやっている。その上で188台については、クリーンセンターの搬入時間帯と台数を基に按分した。そして、搬入時間の指定については、通勤時間である8時より前と17時以降は搬入できないことは考えている。より詳細な部分については、今後の環境アセスの中で検討していく。</p>
<p>→森田次長</p>	<p>34 河川の安全性のリスク評価だと思う。御所ダムでは何を想定しているかという、例えば、普段計画洪水は、高さを調整しながら防災のための放流を行っているが、それでも追いつかなくて緊急で放流しなければいけない、それによって浸水想定区域にまさに越水・溢水が発生し、それで住民の避難とセットで対応しなければならない部分もあることを前提とした訓練に、危機管理防災課も一緒に参加して、訓練の充実に努めていった流れだったと記憶している。いずれ、そうなった場合にどの範囲が浸水想定区域になるのかをまず押さえていくことである。今皆さまの御家庭に配られている防災マップに、浸水想定区域、313ミリの降水量など様々な条件がある。今はそれがスタンダードな条件として国で設定している。お尋ねの部分は、台風の進路なども含めて想定した以上のことが起きたときにどうするのかということだと思うし、実際、平成28年の台風10号災害で、岩手県に上陸した台風</p>

	<p>の例で明らかとなっている。そういったことを含めると、今の浸水想定区域で想定区域になっていないから安心かという部分は御指摘のとおりかと思う。ただ我々としては、やはり今の時点で浸水想定区域になっているか、なっていないかという所が、一つの立地条件として適するのかを判断する要素であると今まで考えてやってきている。</p>
E	<p>35 普通に考えて私は言っている。雨量 313 ミリの防災マップの想定は分かる。何らかの基準を作らないと、ここが浸水するとかしないというのは、できないからそれは分かる。313 ミリというのはもう既に超えている。実績として。盛岡に降っていないだけで。だが、御所ダムの上流には葛根田川がある。滝沢・雫石の雨量も考慮しなければならない、盛岡も含めて。313 ミリはあつという間に超えるのではないか。雫石川の現状を見ると雑木がいっぱい生い茂っている。川が氾濫したら根こそぎ流されて船場橋の橋脚に引っ掛かってダム効果になって堤防に損傷を与えるのではないかと、安易に想像できるから言っている。現にこの間も、雫石川で大木が 1 本根こそぎ流されて、西バイパスの前湯のところに流れていた。分かるだろう。そういうことが実際に起きている。それは大雨が降った後ではなく、木が古くなって根が浸食されて倒れたのかもしれないが。普通に考えて、そういったことが想定できるところが本当に適地と言えるのか。経済性だけを尺度にして物事を進めていいのかと言っている。人の命がかかっている。今こう言って説明しているが、実際に影響を受けるのは今の高校生・中学生・小学生だ。年寄りに説明しても子供達が実際 10 年後になった時に、社会人になり、全然説明も受けなくて、理解も得なくて物事が大人の都合で進められる。普通に考えて言っている。今のクリーンセンターは山に囲まれ、森林に囲まれているから二酸化炭素は森林がある程度吸収してくれる。だが今の上厨川の候補地は何もない。二酸化炭素はそのまま放出だ。有害物質も飛んでいく。盛岡市内を中心に被害を想定されるわけだから、本当に行政として市民のことを考えた物事の進め方、決定のプロセスなのかと言っている。そこを納得できるように説明してもらわないと。わざわざ来て話を聞く価値にしてもらいたい。こんな雨の降る中</p>

	で。話を聞きに来た価値がある説明会にしてもらいたい。
→森田次長	35 我々の説明が、それに十分答えられる内容になっていたかどうかというのは、後で振り返りたい。頂いた意見は、時間がなくて大変申し訳ないが、今日答えきれなかった部分は、また、皆様に何らかの形で説明できるようにしたいと思うので、そこで御理解してもらいたいと思う。
E	36 浸水想定地域の西回りバイパスを、浸水している所をごみ収集車を通らせて集めるのかという回答は。
→菊池室長	36 その部分を含めて、災害対応をどのようにしていけばいいのか、精査して行かなければならないと考えている。今の段階で申し上げられない。
B	37 再度確認をしておきたい。私を入れて5人の方で、賛成はまっていなかった。5人が太田の住民全員を代表したとは言わないが、少なくともこの人数で5人、少しおかしいのではないかという意見が出てきて、各人の思いを告げてきたが、平成31年3月25日に協議会、私から言えば訳の分からない協議会だ。そこで何を言ったかという、総費用も1番低いから上厨川だと。その上で反対意見も踏まえ、住民への丁寧な説明と意見交換が必要との意見も相次いだとなっている。8市町の首長の席で。だから丁寧な話をしてないのではないかとあえて苦言を呈しておく。そして、盛岡市長は住民理解を優先する方針を強調し、正式決定は時期に限らない可能性を示唆した。日報やタイムスや他の新聞社の前で話をしている。未だに市長の話も我々は聞いてないし、ましてや住民への丁寧な話も、冒頭で申し上げたし、3番の方も強調されたと同じで。やり方がおかしいというのは、未だに31年から変わってない。コロナのせいにはしないでほしい。コロナのせいにするならあなた方の計画も止めて、一切凍結してコロナが落ち着きましたから再開するかならまだ分かる。結局、新しい焼却炉の実用がもう来ているという時限ありきの話だ。後付けでいろんな話をしている。平成29年に初めて話したというが、先ほど27年に既にそこを想定してきている。2年も前にすでにやっている。それから1番疑問なのは、最初に前潟自治会の人から後に話が出たのは、地権者1人・自治会長1人・もう一人個人の名前で3人出して、

	<p>前潟自治会はそんなばかな話はないと言って、その人をクビにして新しい自治会長にしたんでしょ。残りの個人1人だけが推進派で賛成だったという話を席上で聞いた。あの時も説明会は紛糾した。ところが今は土淵になっている。前潟が賛成ではなかったのかと思ったら、今は土淵が賛成だという。その時その時に都合のいい人達を出して賛成ですと言っている。これは少し疑問だ。本当にあなた方の欺瞞だ。誰か賛成だと言えればいいということで。最初に申し上げたが、反対と賛成の比率は、簡単に出しただけでも少なくとも大きな差があるはず。もう一つ言っておくと、3ページの整備の確実性を担保するような話で③に総費用が4候補地の中で最も低い結果だと言うが、平均で710億のうち15億だ。こんな数字いつでも変わる。700億も超えている総事業で。これで15億違うから、たった2%安いから4候補地のうち一番安いとは数字をいじりすぎではないか。15億で1番安いと強調できるか。我々も市議会通じていろんな予算執行の時に、簡単に10億や15億変わるだろう。変更という要素は。ここでこれだけ強調しなければならないのか。だから、前潟から土淵に地権者の賛成が変わった話と、15億違うか安いですよという都合のいいことばかり並べたのでは、ますますあなた方は嘘つきの始まりみたいなことをしている。</p>
→菊池室長	<p>37 整備が確実な所で土淵地域ということで書いているが、土淵地域全体の中で、土淵地域でそういう意見が出ているということを含めての表記である。</p> <p>それからもう1点、整備の確実性という部分だが、700億に対しての10億、15億の差であるという意見だが、建設費及びランニングコストを比較して、候補地の中でどういう費用がかかるか想定した。その中で、額は些少ではないかとの意見だが、そういう差があるということは一つの状況だということで資料に書き、(各首長に)御検討いただいた。</p>
→森田次長	<p>37 今730億というお話を頂いた部分、これは同じ条件の中で整備候補地を比較すると、やはり730億という数字になる盛岡インターチェンジ付近が金額としては低い。そういう試算ということだが、お話のように、何か状況が変われば金額は動くことが、大</p>

	<p>型公共事業の一つの特徴であると考えている。従って、試算の部分は絶えず検証しながら進めなければいけないことだと思っているので、一旦はその金額で出したので、最終的にそれですつといけるのかという部分は、必ずしもそうではないというのは、これまでの公共事業が証明していると思っている。そこは指摘のとおり。そういったことも含めて、確実に施設整備計画で決める。</p> <p>(参加者より「それおかしいんじゃないの。」の声あり。)</p>
B	<p>38 素直にそう言ってくれたことに追い打ちをかけるのは可哀そうだが、そのくらい常識で分かる。盛岡市職員はその程度のこと分かる能力を持っている人が職員だ。だから、そういう簡単にひっくり返るような根拠で、資料に書くなと言っている。それが50億も100億も違うなら分かる。クリーンセンターの敷地でやった方が本当はずっと安くなるのではないか。買収費がいくら分からないが、造成費がかからないから、買収費が安いからと、おそらく根拠はいろんなこと出していると思うが、いみじくもあなたが言ったように10億や15億は簡単にひっくり返る。第一700億円を超えるものは誰が精査したのか分からない。その流動性もまったく根拠が分からない。そういう分からないものを書くな。まるで知らない者が聞けば本気にするようなことを書くのを、嘘つきだと言いたくなるのはそういうことだ。肝心な所になると抽象的な話でごまかして努力しますと言っても、失礼だが、今ここで回答して努力しますと言っても、この事業はそう簡単ではないと思う。だから、教えるのは教えてきちんとやっているとか、喋るなら喋ることをやっておかなければ、どんどん疑問と疑いばかり出てきたら信用できなくなる。そのことだけ言っておく。前潟だと喋って今度は土淵。次はどこを出してくるの。しかも地権者には盛岡市民ではない人もいる。27町歩のうち、あなた方は買収するのは5町歩だ。旧46号線の脇には、先ほどどなたか言ったが、ガソリンスタンドが3つも4つもあり、自動車の整備工場もあり、ごみも投げてるし、産廃も投げてる場所だ。どこを5町歩買うか分からないが、そういう話になってから、また変わった、こっちも変わった、結論はうんと増えましたと、だからもう進んですという時に、歯止めがかからない。8市町のどこに盛岡市民いま</p>

	<p>すかと言えば、ごみを被るのは盛岡市民だ。少なくとも北西の風が一番強い。365日のうち大半が北西の風で、中太田と下太田地区が全滅だ。冬だって同じだ。北風と言っても西風が強い。だから、このことは先ほどどなたかも言ったが、500mの川幅挟んですぐだ。もろに被るということだ。だから、環境アセスのやり方もあるし、あなた方はここまで進めてきて候補地にしたんだから、少なくとも10年くらいの風向きは簡単に取れるはずだから。それだけのやつプロットに全部線を流して、風向計出せば結果がすぐ分かる。本当にこの辺は全部そうだ。夕顔瀬の辺りまで全部行きます。ということをつけ加えて、とても私らが今真剣に考えているレベルまであなた方は到達していない。住民の本当の不安をあなた方親身に感じていない。これがそもそもの一番の問題だ。</p>
→森田次長	<p>38 御指摘ありがとうございます。今のお話しを、持ち帰って考えていきたいと思うし、その上で、これから皆様に説明する際に、そういったことがないように気をつけていきたい。</p>
A	<p>39 今日色々な問題点が指摘された。経済比較についても、非常に頭にくるのは人のことを考えてないということだ。我々は、環境問題、災害の問題、それから温暖化の問題、これをずっと訴えてきた。でも、結局は推進協議会の決定理由の一つに、経済比較も入っていた。ということは人命は関係ない、とにかく安い方がいいということだ。先ほどBさんが言った10億、20億安かったから盛岡インターチェンジ付近にした。結局、人命がないがしろにされてることが非常にこちらからすれば頭にくる。提案だが、そちらはあくまでも焼却一辺倒で計画をとにかく押し付けようという姿勢だ。我々からすれば、燃やさなくても良いのではないかと、他にもいろんな方法があるのではないかと。そういう施設もこの近辺にあるはずだ。そういう施設を、土淵では、熔融炉専門に焼却場を先進地視察して、良かった良かったという話をしてるようだが、そういう意味ではなく、視点を変えて、焼却施設ではない施設も見ながら、それではどうあるべきだということを議論していくことが大切ではないか。そういう先進地視察もあって良いのではないかと。</p>

→森田次長	39 ありがとうございます。これまでそのような話がなかなかできなくて来たが、提案というお話だった。ただし、この場所ですぐに私がお答えできる内容ではないと思うので、そこは持ち帰って上司と話をした上で答えたいと思っている。
A	40 かなり金額的に安くなるはずだ。そういう方法も。そして環境にもかなり軽減になるし、いろんな面でメリットはあるはずだ。だから、そういうのも検討するべきではないか。我々は、今の広域化計画を一旦白紙に戻して、市民レベルで協議してほしいとずっと訴え続けてきた。だからそういう面でも少し検討してほしい。
→森田次長	40 貴重な御意見として伺わせていただきます。ありがとうございます。
A	41 住民説明会はこれで終わりなのか。
→森田次長	41 今日のところは（時間の都合で）ここまでである。
A	42 ということは、今後も、いずれ今日の皆さんの意見からすれば、とてもじゃないが納得できないという中身だ。賛成したという話是一言もない。ということは、丁寧に説明していかなければならないのだから、今後も住民説明会（やってほしい）。今日いろいろ質問した中でも答えきれない部分もあった。
→森田次長	42 我々は様々な段階で、これからも地域の皆様とは話し合いを進めていくという基本スタンスなので、したがって、今の質問に対してこれで終わりかと言われると、そうではない。それではこれからもやるのかと言われると、それはそうです。それが答えです。
B	43 明日の説明会の参加人員は何人か。
→菊池室長	43 明日の申込みの方が1名だった。よって、（その1名に対して）今日来てもらうようお願いして、明日は開催しない形である。
B	44 明日はもうやめるわけだ。事実上、今日一日で終わりのわけだ。折角あなた達は二日頑張ろうと思っていたのだから、もう少し具体的に、近いうちに再開してほしい。回答の場、若しくはもっとあなたが今パンフレットを見て気が付いたら教えてくださいと言ったのだから、そういうのを土台にして、もう少し近寄れるよう

	な話をする機会を作ってほしい。
→森田次長	44 明日は住民説明会という形はとれないが、今のお話のように、また先ほどもAさんともお話ししたように、これからもそういう様々な話し合いの場は、我々も積極的にしたいと思っているので、是非よろしくお願ひしたい。
C	45 前回もこれで終わりではないと言って、住民説明会開催すると言ったが、今回来たら中身が一步勝手に進んでいて、太田の反対する側としては、全然話が違ふではないかと思っている。今の状態より一步前の決まる前に、そもそもおかしいのではないかという話で説明会に来ると言っていてそれがなかった。今度来たらもう一步進んでいるっていうのは、全然納得いかない。今日の説明会では、太田では反対でしたということは分かっているのか。
→森田次長	45 皆様からの意見を聴いた上で、今お話があったように、私はこの計画には賛成だという話は一つもなかった。そのことは額面どおり我々今日来ているスタッフ全員そのように感じている。その上で、これからどのように皆さんとお話しをさせてもらうかというところが、これからの我々に課せられたテーマだろうと思っているので、その部分は持ち帰らせてもらい、またお話をする機会を持てればと思っている。もちろん説明会を持つと、先ほどお話ししたとおりである。

(5) 閉会

以上